

JABEE 教育成果点検評価委員会と学務委員との打ち合わせ会（平成 16 年度 1 回）

1. 日程

平成 16 年 7 月 28 日 17:45～19:00

2. 場所

7 号館 建設工学科会議室

3. 出席者

辻委員長、青島、清水、蔡、曹の各委員、山口外部委員長

4. 欠席者

蔡、曹の各委員、若井学務委員

5. 記録

辻

6. 資料と審議事項

下記の配布資料 1 - 1 を予め委員会の前日に配布し、その中の項目ごとに審議し、その結果を矢印で示す。

7. 審議事項：平成 16 年度の教育成果点検評価事項の点検

- 1) 平成 14 年と 15 年“教員の教育業績と業務の評価結果”-それぞれ 100 万円の研究費配分は、鶴飼教授に担当頂いた。→平成 15 年の配分を確認する。→平成 16 年度も実施するが、担当は次回委員会で決める。

この研究費の配分について、教育に対するインセンティブの働き方と研究費の教育効果への有効な使われ方について質問があり、今後検討していくことになった。

- 2) 平成 14 年度および 15 年度の学期末成績の一覧表について、学科長と学務委員により成績の偏りの有無を点検し、偏り無し。→辻よりの平成 14 年度は青島学科長と鶴飼・若井学務委員に、平成 15 年度分は鶴飼学科長と杉山学務委員に点検して頂いた結果の報告を、了承した。
- 3) 平成 15 年度前期と後期の授業科目における成績分布一覧表：13 年度は学務委員に担当 →引用・裏付け資料 5 は、外部委員の山口委員にもわかり易いとのコメントを平成 15 年度の 1 回の委員会で頂いた。

14 年度は曹委員に作成頂き、15 年度も曹委員に作成頂いたものを審議し、各授業科目における成績分布に大きな偏りはないことを確認したが、登録者数に対して単位取得者数が極端に少ない授業科目があることが指摘された。この点については、今後注意して行くことになった。

- 4) 学術講演会に於ける学生・院生の受賞の調査→1. の中で調査する。
- 5) 卒業生、修了生の公的資格取得についての調査→平成 14 年度実施→平成 15 年度は調査しなかった。5 年に 1 度程度でよい。→平成 16 年度も調査しない。
- 6) 学、協会に於ける教育プログラムへの参加、参画状況調査→1. の中で、平成 16 年度分を実施する。自己点検書の 3-259 からの中での追補分とする。毎年実施する。
- 7) 本学科の重点学習・教育目標の確認→確認し、平成 14 年度と平成 15 年度同様に、本年度も変更しないことについて、追認した。

- 8) 科学技術論（平成 15 年より科目変更）への受講状況—樋口、山口両講師→平成 15 年度 1 回の委員会で、平成 15 年度の 3 年生の受講が少なかったことが、辻より報告された。16 年度より積極的に受講を指導し、清水先生が担当した。技術者原論の必修化があり、本年度も受講者が少ないことが報告された。

なお、平成 15 年度 1 回の委員会で、平成 15 年度の技術者原論（前期）の 2 年生の受講は全員だった。

たことが、清水先生より報告された。平成 16 年度の技術者原論（前期）の 2 年生の受講も全員だったことが報告され、今後単位の取得について調査することにした。

- 9) リアクションペーパーが今年度は前期に実施されなかった。後期の実施予定を、教務委員会などを通して調査する。1. の教育評価の対象項目とも関連する。
- 10) 自己診断シートの点検と確認について報告があり、了承した。
- 11) 卒業研究の学習保証時間についての記録の点検と確認についても、3月に実施したことが報告され、了承した。
- 12) シラバスの整備状況の点検→教養科目については、工学部から全学に引き続きお願いしていることを確認した。既に、文章で依頼している。
- 13) 山口委員から平成 15 年度 1 回の委員会で、定量化できるものを識別してもらいたいとの要望があったことに関しては、3. 項目を引き続き実施していることを報告した。

以上

JABEE 教育成果点検評価委員会と学務委員との打ち合わせ会（平成 16 年度 2 回）

1. 日程

平成 16 年 10 月 19 日（火）17:00～18:00

2. 場所

7 号館 建設工学科会議室

3. 出席者

辻委員長、青島、曹の各委員、山口外部委員

4. 欠席者

若井、蔡の各委員、清水学務委員

5. 記録

辻

6. 資料と審議事項

配布資料として、平成 16 年度 1 回の議事録を用いて、その中の項目ごとに審議した。その結果を以下に示す。

配布資料 1 - 1 平成 16 年度 1 回の議事録

平成 16 年度の教育成果点検評価事項の点検

- 1) 平成 14 年と 15 年“教員の教育業績と業務の評価結果”それぞれ 100 万円の研究費配分は、鶴飼教授に担当頂いた。→平成 15 年の配分を前回に確認したが、平成 16 年度も実施するに当たり、リアクションペーパーが今年度は前期に実施されず、後期も実施されないようである。そのため、昨年と同様な方法で実施することを、担当も含め、教室会議に提案する。
この研究費の配分については、前回において教育に対するインセンティブの働き方と研究費の教育効果への有効な使われ方について質問があり、今後検討していくことになった。
また、リアクションペーパーの結果を評価に反映する方法についても、授業の改善の程度も加味すべきとの意見が出たが、継続審議とし、本年度は昨年と同様な方法によることとした。
- 2) 平成 16 年度前期の学期末成績の一覧表について、成績の偏りの有無を、鶴飼学科長と清水学務委員に点検して頂く。
- 3) 自己診断シートの作成の確認を、研究室ごとに実施して頂く。
- 4) 卒業研究の学習保証時間についての記録の作成も、研究室ごとに確認して頂く。
- 5) シラバスの整備状況の点検→教養科目については、工学部から全学に引き続きお願いしていることを確認したが、その整備状況を、杉山学務委員に点検して頂く。
- 6) 山口委員から平成 15 年度 1 回の委員会で、定量化できるものを識別してもらいたいとの要望があったことに関しては、前回も引き続き実施していることを報告したが、評価指標の作成に努めるとともに、作成できない項目については出来ないことを如何に PR するかも重要であるとの、意見が披露された。
- 7) 今後の入学学生の基礎学力低下に如何に対応するかについて、教育システムの構築も含めて検討することを、教室会議に要望することとした。

以上

JABEE 教育成果点検評価委員会（平成 16 年度 3 回）

1. 日程

平成 17 年 3 月 23 日 12:00～12:30

2. 場所

7 号館 建設工学科会議室

3. 出席者

辻委員長、青島、清水、蔡、曹の各委員、若井学務委員

4. 欠席者

山口外部委員

5. 記録

辻

6. 資料

3-1 前回議事録

3-2 審議項目

7. 審議事項

- 1) 後期期末試験成績表の確認を、学科長と学務委員が本で行なった報告があった。
- 2) 4 年次および 3 年次への進級学生の判定を、本日の進級判定会議で行い、その結果を確認した。
- 3) 教員の教育業績と業務の評価結果に基づく校費の配分は、本年度も実施する。配分方法も昨年度と同様とする。
- 4) 点検シートの学習・教育目標に対する達成度について、確認した。
- 5) 卒業研究の学習保証時間についての記録の確認は、研究室ごとに実施されたとの報告があった。

以上